

- 問1 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。

2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。

3. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。

4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。
- 問2 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 埴輪

2. 銅鐸

3. 石包丁

4. 土偶
- 問3 縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 高地性集落

2. 環濠集落

3. 古墳

4. 貝塚
- 問4 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 多文化共生社会

2. 持続可能な社会

3. 中央集権社会

4. 高度情報化社会
- 問5 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

1. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた

2. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた

3. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた

4. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた
- 問6 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 渡来人

2. 琉球民族

3. 大和民族

4. アイヌ民族
- 問7 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。

2. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。

3. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。

4. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。
- 問8 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡

2. 登呂遺跡

3. 吉野ヶ里遺跡

4. 岩宿遺跡
- 問9 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため

2. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため

3. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため

4. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
- 問10 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 鉄器

2. 青銅器

3. 打製石器

4. 磨製石器
- 問11 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた

2. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた

3. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた

4. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
- 問12 縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。

2. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。

3. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。

4. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。
- 問13 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため

2. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため

3. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため

4. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため
- 問14 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した

2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた

3. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた

4. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された